



# 2

芸工の20年

学部のこれまでの歩みと今

年表で見る芸工の20年

1995 平成7	1996 平成8	1997 平成9	1998 平成10	1999 平成11	2000 平成12	2001 平成13	2002 平成14	2003 平成15	2004 平成16	2005 平成17	
4月 12月 芸術工学部設置認可 芸術工学部設置認可申請書提出	2月 4月 6月 工学棟完成 学部設立記念オープンハウス実施 芸術工学部開設(視覚情報デザイン学科入学定員30名、生活環境デザイン学科入学定員30名)	3月 名古屋市立女子短大・名古屋市立保育短大の廃止	2月 3月 7月 デザイン広場、シンボルタワー完成 芸術工学棟完成	1月 3月 メインゲート、環境測定棟完成 第1回芸工祭開催	4月 大学院芸術工学研究科修士課程設置(入学定員25名)	1月 4月 トリノ工科大学との大学間交流協定締結 名古屋市立大学芸術工学部同窓会発足	4月 12月 「芸工展2002」名古屋市民ギャラリー矢田にて開催 大学院部局化／大学院芸術工学研究科博士後期課程設置(入学定員5名)	4月 芸術工学部キャンパスに生協開設	11月 同窓会の第1回総会親睦会を開催	4月 9月 米国ウィチタ州立大学と学生交流協定締結 大学院芸術工学研究科博士前期(修士)課程を3領域から2領域に改組 芸術工学部両学科の名称をデザイン情報学科、都市環境デザイン学科に変更し、併せて学生定員を各学科30名から40名に増員	
<div><div></div><div></div></div>											
1998年7月芸工棟オープンハウス アトリウム集合写真					2003年3月卒業・修了証書授与式						
研究科編成					大学院博士課程						
	大学院修士課程				ビジュアルデザイン工学領域、地域環境計画領域、生活空間設計領域						
学部学科編成	視覚情報デザイン学科(定員30人)～2005年3月末										
	生活環境デザイン学科(定員30人)～2005年3月末										
研究科長	柳澤 忠 1996年4月～2000年3月				宮村 篤典 2000年4月～2002年3月			奥山 健二 2002年4月～2004年3月		瀬口 哲夫 2004年4月～2006年3月	

※敬称略

2006 平成18	2007 平成19	2008 平成20	2009 平成21	2010 平成22	2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28
3月 4月 7月 芸術工学部創立10周年記念誌発行 公立大学法人化 第1回卓展開催	3月 9月 名古屋商工会議所冠講座 奥山清行氏による特別講演開催 名古屋市営地下鉄に水野みか子教授作曲の列車接近メロディが導入 藝名荘(長野県茅野市)閉鎖	2月 6月 8月 第1回NAGOYA環境デザイン国際ワークショップ・国際会議(WASEDAN2008)開催 名古屋商工会議所冠講座「デザインと持続可能な未来社会」開始 芸術工学部平成19年度卒業制作展OB企画開催	4月 芸術工学研究科附属環境デザイン研究所設置	2月 4月 9月 第2回環境デザイン国際ワークショップ開催／同窓会クロストーク事業スタート 芸術工学部都市環境デザイン学科の名称を建築都市デザイン学科に変更 食堂が拡張およびリニューアル	3月 4月 11月 東山公園春まつりグッズ(エコバッグ、タンブラー等)を芸工の学生がデザイン 「食堂のおばちゃんお疲れさま会」川崎和男先生記念講演会を有志で開催 学生有志がNAGOYAアカリナイト2011出展	3月 4月 11月 「失われた街展」名古屋巡回展を芸術工学棟アトリウムで開催。3月20日シンポジウム開催 名古屋駅にて開催された「名工大・名古屋市大 合同テクノフェア2012」に出展 芸術工学部を再編し、情報環境デザイン学科・産業イノベーションデザイン学科、建築都市デザイン学科を設置	4月 8月 あいちトリエンナーレ2013「学生アートマーケット」出展 芸術工学部の学生がデザインした「マナカ付学生証」が名古屋市立大学で運用開始	7月 8月 12月 米国ハーバード大のハンス・チュク教授が芸術工学部に来学され「電子音響音楽の現在」開催 名古屋市立大病院医療デザイン研究センターが開設され國本教授がセンター長に就任 市博物館特別展「感じる縄文時代」で横山研がNFCタグと3D技術を使った展示説明を実施	2月 11月 経済学部と芸術工学部の学生有志がサークルKサンクスとスイーツを共同開発 芸術工学部創立20周年記念祝賀会開催	3月 芸術工学部創立20周年記念誌発行 栗原映像研究室制作の名古屋市立大学開学65周年記念映画「儚時計」上映
										
2008年8月 IWASEDAN2008 参加者集合写真			2011年11月NAGOYAアカリナイト出展			2015年2月サークルKサンクスと学生が共同開発したスイーツが発売				
デザイン情報領域、建築都市領域						情報環境デザイン領域、産業イノベーション領域、建築都市領域				
デザイン情報学科(定員40人)～2012年3月末						情報環境デザイン学科(定員30人)				
						産業イノベーションデザイン学科(定員30人)				
都市環境デザイン学科(定員40人)～2010年3月末				建築都市デザイン学科(定員40人)						
森島 紘 2006年4月～2008年3月		山口 良臣 2008年4月～2010年3月		横山 清子 2010年4月～2012年3月		鈴木 賢一 2012年4月～2016年3月				



# 芸術工学部・芸術工学研究科

名古屋市立大学は1950年に創立され、2015年に創立65周年を迎えました。医学、薬学、経済学、人間文化、芸術工学、看護学、システム自然科学の7つの大学院研究科、および6学部（システム自然科学以外）を擁する総合大学です。キャンパスは名古屋市内4か所にあり、芸術工学部は北千種キャンパスにあります。

**芸術工学部**  
情報環境デザイン学科 (30人)、産業イノベーションデザイン学科 (30人)、建築都市デザイン学科 (40人) の3学科で構成され、専門教育は下の表の通りです。3分野が共通に学ぶ科目として、  
1) 芸術分野で必要となる理論と造形実習  
2) 工学分野で必要となる数学と情報処理  
3) 「人にやさしいデザイン」を実現するために必要となる人間工学とユニバーサルデザイン  
が用意されており、他の類似学部と異なる特色となっています。

**大学院芸術工学研究科**  
博士前期課程(修士)と博士後期課程(博士)があり、現在の定員はそれぞれ30人と5人です。多様な経歴をもつ社会人の再教育や、研究成果を職場で活かしたいと考える社会人に対する教育研究体制も整えています。  
**2つの大きな特色**  
● **学内実務プロジェクト／学外実務プロジェクト**  
博士前期課程では、一般学生に対して企業等でインターンシップをする学外実務プロジェクトを、社会人学生に対しては実務経験を踏まえた事例研究や課題研究を目的とする学内実務プロジェクトを実施しています。  
● **昼夜開講制と長期履修制度**  
社会人学生は、夜間と土曜日に開講される授業科目を履修することにより、定められた教育課程の期間内で修了に必要な授業科目を履修することができます。諸事情により期間内での履修が困難な場合は、授業料は基本の教育過程の年数分で就業期間を延長することができます。

芸術工学部・研究科の構成		
学 部		
情報環境デザイン学科	産業イノベーションデザイン学科	建築都市デザイン学科
インタラクションデザイン 映像 音響 テキスタイルデザイン 情報通信工学	インダストリアルデザイン プロダクトデザイン グラフィックデザイン コンピューターグラフィックス 機械・電子工学	意匠・計画 構造・材料 環境・設備 都市・地域
博士前期課程(修士)		
情報環境デザイン領域	産業イノベーションデザイン領域	建築都市領域
博士後期課程(博士)		

進路状況		内訳	達成率
平成27年度 <small>(平成28年3月1日現在)</small>	進学率	22%	100%
	就職率	69%	92%
平成26年度	進学率	29%	100%
	就職率	63%	96%
平成25年度	進学率	27%	100%
	就職率	65%	94%

注1 内訳：学生数を100とした時のそれぞれの進路内訳  
注2 達成率：進学（就職）決定者／進学（就職）希望者数の百分率

